

# 健康通信

## 新しい不整脈治療



循環器内科部長医師

今井 元

循環器内科は主に心臓および血管の病気を診察治療する部門です。現在では医療技術の進歩に伴い薬物治療だけではなく、カテーテルという細い管を通して様々な病気を治療するインターベンションという治療法が数多く行われるようになり、当院でも循環器内科で多数の患者様に行っております。今日は不整脈の中でも比較的頻度が高い、心房細動の新しいカテーテルアプローチ（バルーン治療（冷凍凝固バルーンカテーテル焼灼術））についてお話ししたいと思います。

### 従来の不整脈治療

心房細動という不整脈は高率に重症の脳梗塞を起こす原因疾患であり、その原因および治療に関する研究が最近

20年間でいろいろと進んでおります。特に持続時間の短い発作性心房細動では、約80%の方でその原因となる部分が肺から左心房へ流入する左右の肺静脈の出口およびその付近に局限している、ということが分かってきました。今まではこの部分に高周波通電（ラジオ波という電気を流す）をすることにより低温ヤケド（60・80℃程度）を何回も（通常は60・80回程度）おこして治療してしました。

### 冷凍凝固バルーンカテーテル焼灼術

2010年頃より液化亜酸化窒素ガスを満たした風船状のカテーテルにより約40℃程度までこの部分を冷却し、心臓および肺静脈の筋肉を冷凍凝固壊死させて治療する方法がヨーロッパでは

じめられ、その成功率の高さから国内にも広まっています。当院でも2016年8月よりこの治療を開始しました。今後経験症例を増やして治療時間の短縮、治療成績の更なる向上を目指したいと考えております。

ただし肺静脈の形状（かなり個人差があります）により大きく治療成績が左右されるため、だれでも受けていただくことができない治療ではありません。冷凍凝固バルーンカテーテル焼灼術が不向きな方には従来の高周波通電によるカテーテル治療を行っていきます。この冷凍凝固バルーンカテーテルによる不整脈治療分野もどんどん進歩しており、治療成績の向上だけでなく合併症予防なども進んできており、当院でも第一線の治療を行なうべく日々研修しています。

今後不整脈治療はどんどん変わっていくことが予想されます。当院でもいつでも最新の治療を提供できるように日々努力してまいります。動悸などでお困りでしたらご来院ください。



## information

### 職員募集の

## お知らせ

### 市民病院職員

### 理学療法士

勤務開始日 平成29年4月1日

対象 昭和63年4月2日以降に生れた方で平成29年3月理学療法士資格取得見込者または資格取得者  
人員 2人程度

申込み 10月11日(火)（必着）までに、履歴書（写真貼付）、卒業証明書

または卒業見込証明書、資格免許証の写し（有資格者のみ）を郵送または直接病院総務課（〒485-8520 住所不要）

### ■試験

#### 1次試験

とき 10月22日(土)午前8時30分

ところ 市民病院8階大会議室

内容 教養試験、専門試験、適性検査、作文

※11月中旬に2次試験として面接あり

